

しらさぎ

しらさぎ保育園
VOL57 NO.2
(通巻 660号)

<http://www.sirasagi-hoiku.com/>

～お子さんの安全を第一に考えて～

園長 秋保めぐみ

進級・入園してから2ヶ月が過ぎ、子どもたちは笑顔いっぱい元気過ごしています。保護者の方も4月、5月と誕生会や参観に参加していただき、楽しんでいただけたようで嬉しいです。

さて、駐車場の工事では皆様にご迷惑をおかけしてはいますが、もう間もなく完成し使っていただきます。完成後は、今までと登降園の出入り口の場所が変わります。駐車場は、車の入り口と徒歩・自転車用の入り口に分かれています。園内へは、新しいオートロックの入り口から入っていただきます。新駐車場は広く駐めやすく、皆様にきっと喜んでいただけるとおもいます。オートロックの入り口までは安全を考えて歩道を作りました。ほかにも安全面にいろいろ配慮しましたが、駐車場内では親子で必ず手をつなぐ、走り回らない、遊ばない約束を守ってください。お子さんの安全を守るのは保護者の方です。命を守るためによりしくお願いします。

6月のテーマ「夏野菜を育てよう！」



各クラスで植えた夏野菜。毎日「大きくな～れ」と世話をするうちに、子どもたちにも優しい気持が育つ。たんぼぼ組も保育者に抱かれて散歩の途中で夏野菜をみたり、触ったりする。小さいうちから食べ物に興味をもち、感謝して食べる心を育てる。

*6月は全クラス統一のテーマです。

新人の声

さくら組担任 渥美ことね

しらさぎ保育園の子どもたちはみんな元気いっぱい、毎日元気をもらっています。さくら組の担任になり初めは子どもたちとどう関わっていいか不安でしたが2ヶ月経った今、少しずつ子どもたちの性格、個性が分かって深く関われるようになってきました。まだまだ分からないことや慣れないことがあり、未熟ですが精一杯頑張ります。よろしくお祈りします。

ばら組担任 野村江利子

しらさぎ保育園は、毎日たくさん外遊びの時間があり、子どもたちがのびのびと元気いっぱい魅力的な園だなと思いました。

私には3人の子どもがいますが、こんなかわいいい頃もあったなと懐かしく思いながら、元気いっぱい子どもたちに私自身がパワーをもらって毎日楽しく働いています。いつも笑顔忘れず、日々勉強しながら保育していきます。よろしくお祈りします。

～誕生会～

さくら組担任 小田嶋幸恵

今年度から保護者参加型の誕生会をお子さんの誕生月に行っています。誕生会当日の9:30と一緒に登園。朝の集まりの時(園庭)に全クラスでお祝いした後、クラスに入って食事終了まで過ごします。保育室で誕生カードを読んでもらうのを見学したり、一緒に遊びに参加したりすることは保護者の方にとっては新鮮なことばかりで様々な感想をいただいています。誕生会におとうさん、おかあさんが来てくれることは子どもたちにとっても嬉しくて特別な日になります。各月の誕生会の日は行事予定でお知らせしますので、是非ご参加ください。今までに参加した保護者の方の感想の中から抜粋して紹介したいと思います。



みんなの前で名前を言ったり、体操したり家では見ることのできない姿をたくさん見ることができました。保育室にも入れて良かったです。

～さくら組 Sくんのおかあさん～

園庭でみんなにお祝いされるのはとても良い思い出になりました。

～もも組 Yちゃんのおかあさん～

とても良い機会でしたのでまた来年も参加できるのを楽しみにしています。

～ばら組 Kちゃんのおとうさん～

参観の時とは違い普段通りの園での様子が見られて良かったです。ご飯も薄味なのに、おいしくて食育に力を入れてくださっているのがよくわかりました。

～ゆり組 Aくんのおかあさん～

～保育参観～

ばら組担任 山下真由

進級して初めての参観。ばら組では折り紙「かたつむり」と新聞ジャンケンをしました。少し緊張した様子もありましたが、よく話を聞き取り組む姿、友だちと楽しむ姿などを見ていただくことができました。子どもたちも保護者の皆様と楽しく活動することができて嬉しそうでした。また今年は参加後に懇談会がありました。短い時間でしたが日頃出会えない保護者の方々同士、顔合わせをしておはなしすることができ有意義な時間になりました。ご参加いただきありがとうございました。

☆6月のプラン

- 5日(水) 地震訓練
- 6日(木) }
- 11日(火) } 保育参観(たんぼぼ組)
- 12日(水) }
- 7日(金) 誕生会
- 13日(木) 歯科検診
- 17日(月) 弁当日

≪園庭開放 6月19日(水)≫

<編集後記>

6月10日は時の記念日。日本の記念日の1つであり初めて時刻を時計で知らせた日です。生活する上で、なくてはならない“時間”の大切さを考える日でもあるそうです。保育園でも時計の製作や絵本、歌といった遊びを通じて、子どもたちが時計や時間について興味をもつようにしています。ちなみに日本では6月に国民の祝日がないため、時の記念日を6月の国民の祝日にすべきとの意見も多いそうです。(大久保)

<今月の担当: 小田嶋幸恵・大久保愛実・山下真由>